

2024 年度 地黄湿地 保全活動計画

計画の概要

- ・湿地の再生・保全は3カ年計画を基本に調査計画や施工を進める。
- ・新たに湿地部全域を防鹿柵で囲う。
- ・調査・モニタリングは継続的に実施する。
- ・普及啓発などについては、観察会の開催と大阪みどりのトラスト協会のHPやメールマガジンを活用して実施する。
- ・自然共生サイトへの登録を検討する。

I 再生保全検討会議

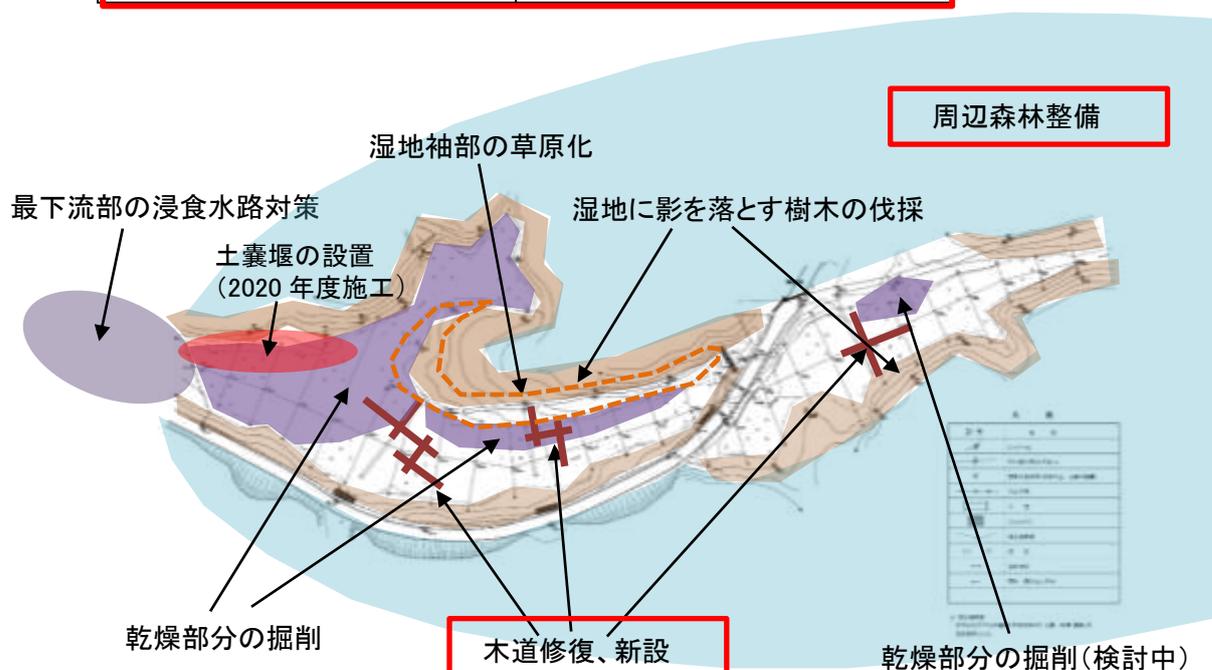
5月に加えて、中間報告など必要に応じて随時会議を開催する。

II 保全作業

2021年度第2回検討会議（12月開催）において承認された、2022年度から2024年度の3カ年計画を進める。

2023年度までの実施内容と、2024年度の予定は下表の通り。

2021年度に実施済み	湿地周りの高木伐採 乾燥部分の掘削
2021年度から継続実施	湿地袖部の草原化
2022年度に実施済み	最下流部の浸食水路対策
2022年度以降に実施予定	周辺森林整備
2023年度以降に実施予定	木道修復、新設



1 湿地部全域での防鹿柵、新設

ニホンジカによる湿地の植物への食害を防ぐことを目的に、湿地部全域を上池と下池に分けて防鹿柵で囲う。設置線は、事務局案をベースに関係者で現地視察を行い、微調整を加えた上で決定する。(参考資料 5)

2 周辺森林整備

人工林については草原地化を目指し、新たに 0.2ha の皆伐を実施する。

3 木道修復、新設

木道の老朽化が進んでいるため、既存の木道を修復する。その際には観察者の行き違いを可能にする場所を新設する。(参考資料 1)

4 ボランティア定例保全活動

4 月～10 月は月 1 回とし、湿地内の動植物観察や希少種確認及び記録と、湿地外の林床整備等の作業を行う。11 月～3 月は月 2 回とし、湿地内の整備を行う。

年間計画(案)を巻末に添付。

(1) 湿地内の動植物観察や希少種確認及び記録

サギソウ等の希少種の分布状況、生育状況を記録する。

(2) 草原地化部の保全・草刈等

湿地袖部で防鹿柵を設置し草原地化を目指している部分は、引き続き植生管理のための草刈などを実施する。

(3) 湿地内の水環境の保全・草刈等

植物の活動が少なくなる 11 月以降、湿地内で水の偏りがないか確認し、湿地全体に水が行き渡るように土嚢などを設置する。

貧栄養の水質と光環境を保つため、湿地全域について枯れた植物体の刈り払い、撤去を行う。

(4) 周辺森林の植生調査地の保全・草刈等

2022 年度及び 2023 年度に設置した周辺森林の植生調査地は防鹿柵内の遷移を確認し、必要に応じて順応的管理を行う。

(5) 外来種対応

確認された外来種については駆除などの対応を行う。

- ・ウシガエル：捕獲用のカニ籠を引き続き設置し、夏季に卵塊がないか目視で確認する。
- ・メダカ：引き続き状況を確認し、ボランティア定例活動時に駆除を行う。駆除は観察会・保全活動体験会及び、大阪府立豊中高等学校能勢分校の現地授業の機会も利用し、外来種問題の啓発を兼ねて、参加者の協力を得て実施する。

IV 調査・モニタリング

1 植物調査

2021年度に草地化及び掘削を行ったコドラートの追跡調査と、2022年度及び2023年度に設定した周辺森林の植生調査地の調査を秋に1回実施する。確認された植物に応じて順応的管理を行う際の参考とする。

委託先：武田義明名誉教授（神戸大学）、上田萌子准教授（大阪公立大学）

2 哺乳類調査

現在主に湿地内に向けて5台設置している自動撮影カメラの台数を2台に減らし、場所を林縁部及び森内に移設し、データを定期的に回収・記録を継続する。調査は大阪府立環境農林水産総合研究所と共同で実施し、記録した写真や動画は大阪みどりのトラスト協会のHPで公開する。

3 水生生物調査

湿地内および周辺の水生動物を、年3回の調査を通して種数の変遷を調査する。調査対象は節足動物および両生類とする。

前年度に引き続きハッチョウトンボの保全を目的として、地黄湿地における本種の発生状況と季節消長、行動などの解明を目的とした調査を行う。

委託先：平井規央教授（大阪公立大学）

4 動植物観察、希少種確認・記録

ボランティア定例活動において、サギソウ等の希少種の分布状況、生育状況を記録する。（再掲）

V 普及啓発など

1 地元高校環境学習

地黄湿地を活用した環境教育を行う。

2 一般参加観察会

植物紹介を中心とした観察会を年に3回実施する。動植物や保全活動に関心のある人を対象に、自然環境についての学び場とし、保全活動への参加を促進させる。

- ・【6月】トキソウ・ハッチョウトンボ・水生動物観察会
- ・【7月】サギソウ観察会
- ・【10月】秋の植物観察会

3 巡回パトロール

地元地黄区の協力を得て、春～秋は月 2～3 回、冬季は月 1 回、年間合計 25 回の巡回パトロールを実施する。

VI 自然共生サイトへの登録の検討

環境省の「自然共生サイト」（民間の取り組み等によって生物多様性の保全が図られている区域）への登録申請に向けた検討を始める。

2024年度 地黄湿地活動予定

日・曜日	内容	団体	備考
4/27 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
5/9 (木)	検討会議	地黄湿地再生保全検討会議	さとおか防災センター
5/25 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
6/22 (土)	定例活動・観察会	地黄湿地観察会	トキソウ・生きもの観察会
7/27 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
7/ 未定	観察会	地黄湿地観察会	サギソウ観察
8/24 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
9/21 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
10/ 未定	観察会	地黄湿地観察会	能勢分校講師
10/26 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
11/23 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
12/14 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ	
12/28 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
1/11 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ	
1/25 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
2/8 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ	
2/22 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
3/8 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ	
3/22 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	

- ・地黄の森 FAN クラブ活動 原則 4月~11月は第4土曜日、12月~3月は第2・第4土曜日
- ・日本森林ボランティア協会 第4土曜日